

第9期 子ども大学はにゅう

活動記録(令和元年度)



1日目
~9月21日(土)~

入学式

時間： 9:00~9:30
会場： 埼玉純真短期大学

9年目となる「子ども大学はにゅう」に、市内の小学校4~6年生の子どもたち10名が入学しました。今年も楽しく学びましょう！子ども大学卒業生のお兄さん・お姉さんが「サポーター」として、みんなの学びのお手伝いに来てくれました！



埼玉純真短期大学のマナー実践室で入学式を行いました。藤田学長から、子ども大学で学ぶ意義や心得についてお話がありました。その後、大学生活に対する抱負が学生から述べられました。今年のカリキュラムも、パラリンピック競技の体験や羽生市内の企業訪問、身近な食材を使った実験、外国の風土について学ぶなど、魅力的な講義がたくさんあります。学校生活では体験できないような体験や学びを、学生も心待ちにしているようです。

講義Ⅰ

「友達の輪を広げよう」

時間： 9:45~10:30
会場： 埼玉純真短期大学



この日初めて出会った学生たちが2つのグループに分かれて輪を作り、「どれだけ時間、手を使わずに風船を地面につけないか」というゲームに、協力して取り組みました。1つのことに仲間と協力することでチームワークについて学べ、全員が楽しそうに取り組んでいました。



講義Ⅱ

「パラリンピック（ゴールボール）を体験しよう」

時間： 10:40~11:40

2020年の東京オリンピック・パラリンピックで行われる「ゴールボール」を体験しました。埼玉県障害者スポーツ協会の先生の指導で、4グループに分かれて対戦しました。アイシェードという専用のゴーグルを装着することで目の前が真っ暗になります。完全に視界が遮られることが怖いと感じた学生が大半でしたが、徐々に慣れていき、最終的にはボールをまっすぐに転がすことができるようになりました。講義の終わりには実際に選手が獲得した国際大会のメダルを触らせてもらうこともでき、学生にとっては貴重な経験になりました。



2日目
~10月26日(土)~

講義Ⅲ

「ミニサイエンスラボ~ムラサキキャベツの色彩マジック~」

時間： 9:00~9:50
会場： 埼玉純真短期大学

2日目の最初の講義では、スーパーマーケットで販売されているムラサキキャベツ。その煮汁を利用した実験をおこないました。煮汁の色の変化を楽しみながら身の回りにある物質の性質について学習しました。この講義は、県立羽生高等学校の柴崎俊和先生が担当しました。



講義Ⅳ

「角帽をつくろう」

時間： 10:00~10:40
会場： 埼玉純真短期大学



青少年相談員のお兄さんお姉さんに教わりながら、修了式でかぶる角帽を手作りしました。こども大学はにゅうで毎年行っている、おなじみの講義です。サポーターや作り慣れている学生が初めての学生に作り方を教えている頼もしい姿も見られました。



講義Ⅴ

「隣の国はどんな国？インドってこんな国」

時間： 10:50~11:40
会場： 埼玉純真短期大学



こども大学はにゅうで恒例になりつつある、近隣諸国の地理や文化を現地出身の方から学ぶ授業。3回目はインドを取り上げました。「人口が多い」というイメージが真っ先に思い浮かびあがりますが、人口の多さだけでなく、地域によって服装や食文化も多様性があることを学びました。講師のナルワル・スレカ先生には、「来日後一番驚いた経験は何か。」「何種類のカレーがインドにはあるのか。」といった質問が飛び出し、遠いようで近い国、インドに興味関心を示していました。

3日目 ~11月16日(土)~

講義VI

「はにゅうの産業と歴史を知ろう⑥」

時間： 10:00~11:00
会場： アロハガス株式会社



3日目の講義は、アロハガス株式会社を訪問し、天然ガスや富士山麓で採取された天然水がどのように羽生市内の各家庭に届けられるのかなどを学びました。当日は代表取締役会長の田邊正一先生、代表取締役社長の田邊将宏先生、専務取締役の西田雅博先生の案内で、営業所内を見学しました。陸路で運ばれてきた液体の天然ガスをボンベに詰め替えて配送する様子を間近で見学できただけではなく、天然水を入れる容器やウォーターサーバーを洗浄する工程を学ぶことができました。また、温室にも案内していただき、グアバやマンゴーなど普段見られないような植物を観察することができました。

学生にとって、アロハガスはガスを届ける会社というイメージが強かったようで、「取り扱っている水を家で飲んでみたい。」という声も挙がっていました。一緒に見学していた保護者からは「普段見学できない会社の裏側を見ることができて本当によかった。」といった意見を聞くことができ、好評だったようです。



4日目 ~12月14日(土)~

講義VII

「クリスマス☆ 演奏して楽しもう！」

時間： 9:00~10:00
会場： 埼玉純真短期大学



クリスマスソングを手話やハンドベルなど様々な手法で演奏しました。手話やハンドベルを初めて習う学生が多くいましたが、先生の優しく丁寧な指導のおかげでめきめきと上達していきました。ピアノの連弾にも挑戦し、授業時間があっという間に過ぎていきました。

講義VIII

「学習のまとめ」

時間： 10:10~10:40
会場： 埼玉純真短期大学

今年の4日間の学びを振り返って、「学習のまとめ」を行いました。これまで学習してきたことを、画用紙に書いてまとめます。まとめが書き終わったら先生の指導で、修了式で行う発表の練習をしました。皆、一生懸命取り組んで、立派なまとめができました。



サポーターのお兄さん・お姉さん



子ども大学はにゅう卒業生(中学生)のみんながサポーターとして帰ってきてくれました。参加学生の良きお兄さん・お姉さんとして雰囲気作りや講義の補助、学生とのコミュニケーションをとってくれました。また、今回は入学式や各講義の司会を担当してくれました。今回も活発な交流が生まれ、4日間楽しく学ぶことができました。

修了式

時間： 11:50~11:30
会場： 埼玉純真短期大学

修了式に先立ち、講義VIIで学んだ成果を発表しました。講義で初めて学んだとは思えない、素晴らしい発表でした。「学習のまとめ」の発表後、藤田学長から一人ひとり修了証書を受け取りました。学生代表の言葉からも、子ども大学はにゅうでの経験がとても充実していて、ためになっていたことが感じられました。また、来年はサポーターとして戻ってきたいと言ってくれました。



みんなと一緒の記念写真



子ども大学はにゅう修了を記念し、サポーターのお兄さんお姉さんと記念写真を撮影しました。4日間という短い日程でしたが、入学式の時と比べると一回りも二回りもおおきく成長しました。また来年も参加して、大きくなった姿を見せて下さいね！

どの講義も、子どもたちにとって忘れられない貴重な体験になりました。これからも、たくさんの方に興味を持って、楽しみながら学んでいって下さいね！
来年も参加者もしくは、サポーターとして会えることを楽しみにしています！

発行日 令和2年3月
発行・編集 子ども大学はにゅう実行委員会
・(学) 埼玉純真短期大学
・(社) 羽生青年会議所
・羽生市青少年相談員協議会
・羽生ロータリークラブ
・羽生市教育委員会
・アロハガス(株)
協力団体
・(有) シガ工業